

NPO 京都コミュニティ放送
第 136 回 番組審議会 議事録

開催日時：2019 年 11 月 26 日（火） 10：30～11：45

会場：ラジオカフェ事務所

出席委員： ジェフ・バーグランド 隅井美沙子 岡田芳宏 安長幸音

欠席委員：中村正 岡本卓也 福井秀彦

局側委員：松岡千鶴 藤本香（順不同敬称略）

ゲスト：「葵の物語りゃんせ」 番組オーナー丸山観月さん、下河原葵さん

■審議番組： 「葵の物語りゃんせ」（毎週木曜日 12 時 50 分から放送の 3 分番組）

冒頭 番組オーナー丸山さんから番組の説明があった。公共の電波は初めての 2 人で番組をスタートした。途中から 1 人になり又 2 人で出来ないかと考えているところ。葵さんは、京都生まれの京都市育ち。京都の昔話からスタートした。長く続けているとこれで良いのかと考える。

2019 年 7 月 18 日と 11 月 7 日の放送を聞いて審議に入った。

- ・宮沢けんじの詩を東北弁で読むと味があって良い。この番組も京都弁と標準語両方でどうか。
- ・とても良かった。来週に続くというのが良い。詩人の平野りょう子さんの番組は朗読、解説、朗読という構成で、バックにギター演奏が流れていた。大好きな番組だった。目で見るとより、音で聞かされる方が想像力が広がる。4 回に分けるのではなく前半後半でも良いのではないか。
- ・何故 3 分なのか？
- ・ラジオ番組をするなんて考えられなかった。3 分ならとスタートした。（葵）
- ・3 分はあっという間。次どうなるのかというワクワク感がある。ラジオ番組らしい。
- ・3 分だから良いと思う。録音して孫に贈りたい。
- ・小学生の読み聞かせの授業を思い出した。もっと聞きたいと思った。
- ・朗読会の審査委員は抑揚を求めるが、葵さんは自然体が良い。お茶漬けだけを食べた感じ。
- ・人物になりきろうとイメージする。（葵）
- ・落語家の笑福亭仁鶴さんは、違う人物も同じ声で演じる。そこが好き。
- ・声は変えない方が良い。葵さんの一声で空気が伝わる。
- ・淡々と読んで、感情は込めない方が、かえって魅力を感じる。
- ・ラジオ番組でない葵さんも見てみたい。
- ・1 人が負担でないならこのままのスタイルが良い。
- ・2 人ならどうするのか？
- ・役を 2 人で演じ分ける。（葵）
- ・葵さんの声自体が魅力。出来ればこのまま一人で続けてほしい。

以上で審議を終了した。

この審議会の議事録は 2019 年 12 月 5 日から事務所で閲覧できるようにした。

この審議会の議事録は 2019 年 12 月 5 日からホームページで公開した。